

広報

くどやま

2025

9月号

No.599

農業について学びました！



災害に備える

～ 9月1日は「防災の日」 ～

毎年9月1日は「防災の日」として広く知られています。

防災の日とは、台風や地震などの自然災害への意識を高め、防災対策を再確認する日です。

これらを踏まえ、今月号では、九度山町の防災の取り組みや家庭でできる災害の備えをご紹介します。



町の取り組み

○防災備蓄品の整備

九度山町では、災害時に必要な防災資機材や食料、水などの物資を効率的に活用できるように、分散備蓄を進めています。

分散備蓄とは、避難所毎に必要な備蓄品を備えることで、災害時に迅速に備蓄品を活用することができます。

町内の備蓄施設は、大小合わせ16施設となっています。

各施設には、約30種類の防災資機材や、非常食料・水などを備蓄しています。

各施設ごとの備蓄品の詳細については、町ホームページ（下の二次元コード）でご確認ください。



【主な備蓄品】

ガス発電機、バルーン投光器、コードリール、組立式トイレ、携帯トイレ、給水タンク、扇風機、冷風機、ストーブ、間仕切り、ベッド、かまど、カセットコンロ、鍋、やかん、ラジオ、毛布、マット、非常食料、水など

○情報伝達の整備

災害時の情報伝達の要となるのは防災無線ですが、現在、メールやLINE、町ホームページでも、防災無線の内容を確認できるようになりました。

（町公式LINEは、下の二次元コードで登録できます）



また、新たに旭地区に屋外子局（スピーカー）を新設したり、防災無線の難聴世帯に戸別受信機を設置したりしています。

現在も、要配慮者世帯を対象に、戸別受信機の無償貸与を実施していますので、ご希望の方は、地域防災課までお問い合わせください。



▶ 戸別受信機

また、左の電話応答ダイヤルに電話をかけると、防災無線の放送と同じ音声を聞くことができますので、ご利用ください。

★防災無線電話応答ダイヤル

073615412570

○避難所の整備

町が指定する避難所は、現在35施設ありますが、課題となるのが施設の老朽化対策です。

町でも拠点となる避難所の老朽化対策を重要施策と捉えており、直近では、令和6年に中古沢地区に、消防器具庫と集会所が併設されたコミュニティ消防センターを新設しています。

なお、令和7年度は慈尊院地区に集会所を建設予定です。

○自主防災組織の推進

自主防災組織とは、「自分たちの



▲8月2日に開催された永代二自主防災会の防災訓練（消火栓の操作確認）

地域は自分たちで守る」という気持ち・連帯感から、地域住民が自主的に結成し、防災活動を行う組織のことです。

九度山町では、現在、14団体の自主防災組織が設立しています。

また、町では、自主防災組織に対して、防災資機材の支給や、各団体が行う防災訓練や学習会等に対して補助金を支給しています。

なお、まだ自主防災組織がない自治会は、設立に向けてご検討をお願いします。

○防災啓発の推進

町では、平成28年度より、小・中学生や高齢者、自主防災組織などを対象に、町職員が講師となり、防災学習会を開催しています。

防災学習会は、ご要望にあわせて内容で開催します。

ご希望があれば、地域防災課までお問い合わせください。

○地震対策の助成制度

地震対策として、感震ブレーカー並びに家具転倒防止器具の購入に

対する助成制度を設けています。対象者は、要配慮者（高齢者、身体障害者等）が居住する世帯で、補助金額は上限5千円の全額補助となっています。

この他、住宅の耐震診断および耐震改修などの補助もあります。ご希望の方は、役場までお問い合わせください。

○河川ライブカメラ

町では、河川の水位などの状況を監視するため、河川ライブカメラを町内5か所に設置しています。降雨時の増水状況など、リアルタイムの動画で閲覧できますので参考にしてください。

詳しくは、町ホームページ（下の二次元コード）でご確認ください。



■河川カメラの設置場所

- ①不動谷川（中古沢初花橋）
- ②不動谷川（椎出大橋）
- ③丹生川（河根取水場）
- ④丹生川（大柳橋）
- ⑤北又川（北又児童会館）

○防災マップ

町では、災害対策の一環として「九度山町防災マップ」を令和4年に全世帯に配布しました。

このマップは、防災知識や災害時の避難場所、土砂災害や浸水などの危険箇所などをとりまとめたものです。

なお、土砂災害警戒区域や浸水想定区域にお住まいの方は、避難情報が発令された場合は、避難所など、安全な場所に避難してください。

また、パソコンやスマホで閲覧することもできる「WEB版の防災マップ」も作成しています。

詳しくは、町ホームページ（下の二次元コード）でご確認ください。



○防災協定

九度山町では、大規模災害が発生した場合を想定して、各分野で高い能力を持つ企業や団体、他市町村などの公的機関と防災協定を締結しています。【令和7年8月現在、34件締結済】

防災協定の一覧については、町ホームページ（下の二次元コード）でご確認ください。



○個別避難計画

個別避難計画とは、災害時に自力での避難が困難な高齢者や障害者などの要配慮者に対し、個別の状況に合わせて避難支援の方法や避難場所などを事前に定める計画のことです。

この計画は、本人や家族、避難支援者、自治体などが連携して作成し、災害時の円滑な避難を支援することを目的とします。

今後、対象者に対し、計画の作成を進めていきますので、ご協力をお願いします。

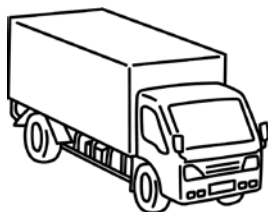
○令和7年度の新規取組

令和7年度は、災害対応車両として、トイレカーを購入予定です。

トイレカーは、停電・断水下でも衛生的で快適な水洗トイレが使用でき、垂直昇降機で車椅子の方も利用可能です。

平時にはコミュニティの場や各種イベント、防災訓練等で活用するとともに、災害時には本町の拠点となる避難所に配備します。

また、本町以外の被災地等への派遣にも積極的に活用していきます。



家庭の備え

家庭でできる災害への備えを6点ご紹介します。

①情報収集をして危険度を把握

テレビやスマホ、インターネットなどを活用し、防災情報をあらかじめ確認しておきましょう。

なお、防災情報については、町

ホームページ（下の二次元コード）でも確認できます。

②家の安全点検

災害に備えて家の内外を点検しましょう。地震への備えとして、家具の固定やガラスが割れないように飛散防止フィルムを貼るなどの対策をしましょう。

③非常用持出袋の準備

各家庭で「非常持出袋」を用意し、すぐに持ち出しやすい場所に備えておきましょう。

非常持出袋に入れる備品の例は、町ホームページ（下の二次元コード）でご確認ください。



家庭に一つ！
非常用持ち出し袋を！

④避難場所や避難経路を確認

防災マップで避難場所や避難経路を普段から確認しておきましょう。

⑤家族で話し合う

災害が発生したときの役割分

を決めておいたり、また外出中に家族が帰宅困難になったり、離れ離れになったりした場合の安否確認の方法や集合場所を決めておきましょう。

⑥自主防災組織や地区の

防災活動に参加する

地域やまちを守るため、日ごろから地域の防災訓練や防災学習会に積極的に参加しましょう。

地域の集まりに参加することが、地域のつながりを深め、いっては地域の防災力を高めることとなります。

また、防災活動が未実施の地域の方も、防災訓練や学習会を地域行事の中に取り入れるなどの工夫をして、まずは、『年1回の防災活動』をご検討ください。

以上、町の取り組みとご家庭でできる備えについて紹介しました。気候変動により想定を超える災害も発生しています。町としても引き続き災害対策を行ってまいります。皆さんも災害への備えについて考えるきっかけにいただくと幸いです。



祝 長寿 100 歳おめでとうございます！

7月24日、100歳を迎えた北岡ヲカエさん（くにき）へ、
賞状と長寿祝金をお渡しして長寿をお祝いいたしました。
これからもお元気で長生きしてください。



九度山町固定資産評価審査員改選

固定資産評価審査委員の任期満了に伴う改選があり、藤田昌司さん（入郷）が再任されました。任期は令和10年6月29日までです。

※固定資産評価審査委員とは、固定資産課税台帳に登録された価格（評価額）に関する不服に対し、中立的・専門的な立場から審査・決定し課税の公平を期する者であり、町長が議会の同意を得て選任します。

「大収穫祭 IN 九度山」フリーマーケット出店者を募集します！

■日 時 11月15日（土）午前10時～午後4時
11月16日（日）午前10時～午後3時

※2日両日の出店を原則とします。

■場 所 道の駅「柿の郷くどやま」芝生広場

■参加資格 満20歳以上の個人・グループ

■募集区画 約20区画程度【1区画2.5m×2.5m】（1人2区画まで）

※先着順とし、予定区画数に達し次第、受付を締め切りといたします。

■出店料 1区画3,000円 / 1日（2日で6,000円）

■申込方法 役場産業振興課に備え付けの「出店申込書兼誓約書」に必要事項を記入の上、お申し込みください。

■申込期間 9月8日（月）～19日（金）

■問い合わせ 「大収穫祭 IN 九度山」実行委員会事務局（役場産業振興課内）☎54-2019

一人暮らしの高齢者とご家族のみなさまへ

離れた家族とつながる「みまもりでんわ」をご利用ください！

こんなお悩みはありませんか？

離れて暮らす家族が心配で

簡単で気軽に使えるサービスがいいけれど

安否確認サービスを使いたいけれど

離れて暮らす大切な家族といつもの時間に電話とメールでつながる、

..... 簡単・便利な安否確認サービスです！

町では主に一人暮らしの高齢者の方向けの見守り事業として「みまもりでんわ」のサービスを行っています。

今、ご自宅でお使いの電話機で簡単に操作できて、“個人の費用負担”はほとんどありません。是非、ご活用ください。

使い方は
簡単

① 毎日ご希望の時間に
電話がかかってきます。



② その日の体調を受話機の
①②③から選んで押す。

①元気で

②いつも通りです

③元気がありません

*留守の場合には、その旨が
メールされ、1時間以内にもう
一度、電話がかかってきます。

③ 登録してあるご家族、
友人等へその日の
健康状態がメールで
送られてきます。

※ なお、管理情報として
役場福祉課にも同じ内容
の情報が届きます。

お問合せ・お申込み

九度山町地域包括支援センター ☎54-2233

「第6回高野山麓いと楽しフォトコンテスト」の開催について

橋本・伊都広域観光協議会（※）は、様々な視点から撮影された写真を広く募集し、その作品を公表することで橋本・伊都地域の魅力を発信するため、フォトコンテストを開催します。

（※）橋本市、かつらぎ町、九度山町、高野町、和歌山県伊都振興局で構成。

〈概要〉

○募集テーマ：「いと自慢」

橋本・伊都地域（橋本市、かつらぎ町、九度山町、高野町）の美しい自然、文化財、史跡、伝統行事、まだ知られていない風景等を撮影した作品を募集します。

○応募期間：

【プリント写真部門】

令和7年8月22日（金）～11月7日（金）必着

【Instagram 部門】

令和7年8月22日（金）～11月7日（金）

○入賞：

【プリント写真部門】

- ・最優秀賞 1点・・・（副賞：賞金5万円）
- ・優秀賞 4点・・・（副賞：賞金1万円）
- ・入選 若干数・・・（副賞：橋本・伊都地域の特産品3千円相当）
- ・特別賞 高校生以下 若干数・・・（副賞：スターバックスカード3千円相当）

【Instagram 部門】

- ・優秀賞 4点・・・（副賞：橋本・伊都地域の特産品5千円相当）

※両部門とも、優秀賞は橋本市、かつらぎ町、九度山町、高野町の撮影地から各1点選出。

※応募条件、応募方法など詳しくは公式WEBページをご確認ください。

<https://ito-tanoshi.com/event/contest/>

○応募先・問合せ先

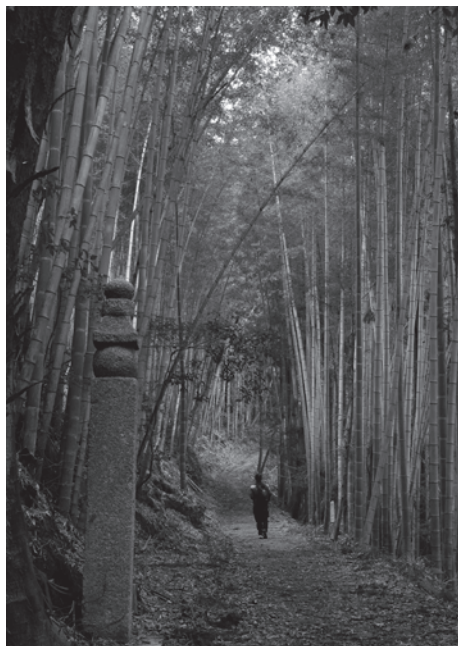
橋本・伊都広域観光協議会

（事務局：伊都振興局 地域づくり部 地域づくり課）

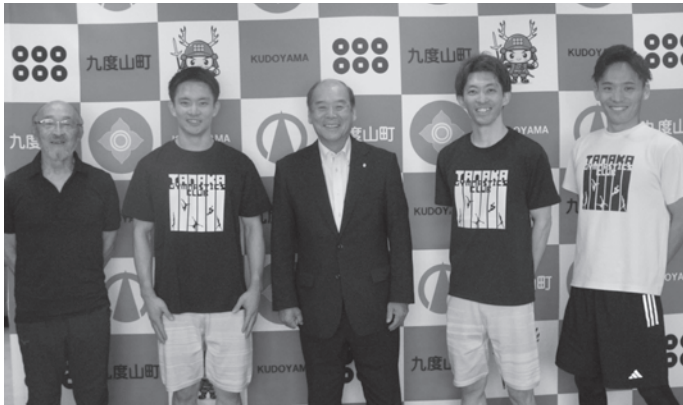
〒648-8541 和歌山県橋本市市脇 4-5-8

TEL:0736-33-4909

昨年（R6年）の受賞作品



田中3きょうだい体操教室が実施されました！



和歌山県の子どもたちに体操の楽しさを伝承・普及する目的で2012年ロンドンオリンピックに出場した田中3きょうだいの田中和仁さん、佑典さんが九度山小学校を訪れ、スポーツ振興と青少年の健全育成を目的に体操教室が開かれました。

子どもたちは楽しそうに体操に取り組み、中でも田中きょうだいらによるバク宙等の実演には興味津々な様子でした。



九度山町の特産品を学ぼう！

7月7日広良地区にある中谷裕一さんの農園において、柿についての授業が行われました。

中谷さんとJAわかやまの指導員の方が講師のもと、九度山小学校の子どもたちが九度山町の特産品である「富有柿」、「平核無柿」について教わりました。

子どもたちは、柿の品種の違い、摘蕾・摘果の必要性等について学び、熱心にメモをとっていました。



「ここでしかできない」体験活動～「やってみたい」気持ちあふれるこどもたち～

7月28日（月）～7月30日（水）に九度山小学校の5年生14名が日高地方を訪れ、学校での学びを一層いかした体験活動を行いました。

1日目は由良町でシュノーケリング体験、漁師さんと交流をしました。ライフジャケットを着用した安全な海での遊び方や漁師さんの仕事について学びを深める機会となりました。実際に、漁具を持たせていただいたり、漁船に乗った経験はこどもたちの興味関心を高めました。また、干物作り体験では多くの児童が初めて



アジの魚を包丁で腹開きにしました。講師の方から生き物と刃物の向き合い方のお話を事前にいただき、丁寧に取り扱っていました。難しいところは助けていただきながら、すてきな交流の時間となりました。後日、干物にさせていただいたあと、こどもたちの手元にとどき、おいしくいただくことができました。

2日目の午後からは印南町・御坊市の民泊受入れ家庭にお世話になり、交流を深めました。どのご家庭も温かみあふれる気持ちでこどもたちを迎えてくださいました。夕飯づくりのお手伝いをしたり、川遊びやカードゲーム、流しそうめんなどをしたりして、それぞれが民泊家庭さんとの関わりを深めました。

最終日、こどもたちは体験活動での学びや思い出を、体験プログラムを計画いただいた一般社団法人ゆめ倶楽部のみなさんや引率スタッフの前で発表しました。スタッフの方はこどもたちの感想に喜んでもらえる機会となりました。きめ細やかな体験プログラムの準備をいただいたたくさんの方への感謝の気持ちを持ち、この3日間は、先生方や同級生とともに作りあげた一生の思い出となりました。



【九度山小学校児童の体験の振り返りより】

- ・民泊先でごはんを協力して作ったことが思い出です。
- ・クルージングでは船の速さや波の水しぶきを感じた。
- ・ビーチクリーンを初めてした。きれいな貝を拾って楽しかった。
- ・シュノーケリングで見たことない魚をみた。
- ・また、体験をしたい。

町の情報（令和7年7月31日現在）

■人口 3,678人（男 1,666人 / 女 2,012人）

■世帯数 1,834世帯

最新の情報を随時配信中！

町ホームページ



町公式
LINE アカウント

